

2021年4月25日 NO.56-17

| | | | |
|---------------|-------------------------------|---------|---------|
| 《開会 午前10時30分》 | | —礼拝式順序— | |
| ※は一同ご起立下さい。 | | 司式 | 吉田謙牧師 |
| 前 奏 | | 奏楽 | G姉妹 |
| 礼拝への招き | ヨハネによる福音書 3章 16節 | | |
| 挨拶 | | | |
| ※賛美 | 詩編歌 24 (1) | | |
| 祈 禱 | | | |
| 罪の告白 | | | |
| 静 思 | | | |
| 赦しの宣言 | | | |
| 平和のしるし | | | —神の招き— |
| 照明の祈り | | | |
| 聖書朗読 | ヨハネによる福音書 5章 19節～30節 (新約172頁) | | |
| 説 教 | 「死から命へ」 | | |
| 祈 禱 | | 吉田謙牧師 | |
| 静 思 | | | —神の言葉— |
| ※賛美 | 532 (1) | | |
| ※信仰告白 | ウエストミンスター小教理問答 問89 (週報裏面) | | |
| ※使徒信条 | | | |
| 献 金 | S姉妹・Y兄弟・T姉妹 | | |
| 執り成し | | 吉田謙牧師 | |
| 主の祈り | (週報裏面) | | —感謝の応答— |
| ※頌 栄 | 539 | | |
| ※祝福と派遣 | 吉田謙牧師 | | |
| ※アーメン三唱 | 40-5 (讃美歌21) | | |
| 報 告 | 礼拝当番 S執事・K兄弟 | | —派 遣— |

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。皆様は心の中で告白してください。

一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。
私たちの罪は、自分一人で負うには重すぎます。
あまりにも確かで、隠すことができません。
あまりにも複雑で、ときほぐすことができません。
あまりにも深く、はかることができません。
くちびるが震え、言葉にするのを恐れます。
私たちにふさわしいのは、永遠の火による裁きです。
変えることのできない過去の罪から解放してください。
変えることのできる未来の可能性を開いてください。
日々、キリストに似る者となるように、恵みを増し加えてください。
世の光であるイエス・キリストによって祈り願います
アーメン。

司式 しばらく目を閉じて、悔い改めと赦しの願いに心を集めましょう。
静思の時間をもちます。(40秒)

赦しの宣言

司式 神の恵みによって宣言します。
主イエス・キリストの十字架を信じるあなたがたは、
罪を犯すことがあっても新しい人です。
罪を犯すことがあっても神の子です。
神は砕かれた魂を何よりも喜んでくださいます。(詩編51:19)
主イエス・キリストは罪を犯した女に言われました。
「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。
これからは、もう罪を犯してはならない。」(ヨハネ8:11)

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 〈司会〉 Y先生
 〈お話〉 A神学生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇奉仕前祈祷会 10:20~
- ◇臨時小会 礼拝後

《前週統計》

祈祷会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

| 2021/4/18 | | 男性 | 女性 | 男児 | 女児 | 合計 | |
|-----------|-------|--------|------|----|------|-------|------|
| 集 | 礼拝 | 11 | 24 | 2 | 3 | 40 | |
| | 祈祷会 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| | 求道者会 | 1(4) | 2(9) | 0 | 0 | 3(13) | |
| | オリキッズ | — | — | — | — | — | |
| 会 | 礼拝の恵み | — | — | — | — | — | |
| | 統 | 成人科 | 7 | 12 | — | — | 19 |
| | | 幼稚科 | 4 | 5 | 0(0) | 2(0) | 2(0) |
| | | 小学生 | — | — | 1(1) | 0(0) | 1(1) |
| | | 中高生 | — | — | 1(0) | 0(0) | 1(0) |
| 計 | 礼拝 | 35, 55 | | | | 0 | |
| | 献金 | 2, 00 | | | | 0 | |

今週の集会

- ◇祈祷会 4月28日(水) 午前10時30分～ オンライン併用 エレミヤ書の学び
- ◇相談日 4月28日(水) 午後2時～5時 牧師相談日
- ◇求道者会 4月29日(木) 午前10時30分～ オンライン併用 (家庭集会と合流)

次週の集会 (5/2)

- ◇教会学校 〈司会〉 A神学生
 (ネット) 〈お話〉 G先生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時～10時20分
- ◇礼拝 〈説教〉 吉田謙牧師「御子についての証し」
 〈聖書〉 ヨハネによる福音書5章31節～36節
 〈旧約聖書〉簡易礼拝のため省略
 〈新約聖書〉簡易礼拝のため省略
 〈讃美歌〉 詩編歌 24・502・540
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 S執事
 〈献金〉 H姉妹・K姉妹・A姉妹
 〈礼拝当番〉 M執事・K姉妹

- ◇教会学校教師会 礼拝後 ◇小会 午後1時～ *聖餐式は中止です。

お知らせ

- ◇イースター献金を募ります。目標額：27万円(教会員は維持献金袋で)。
- ◇緊急事態宣言が発令されたため、基礎疾患のある方や公共交通機関を利用して来られる方は、命を守るために極力自宅で礼拝を捧げるようにして下さい。また礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
- ◇祈祷会・求道者会・教会学校は、オンラインを併用しながらおこないます。その他の諸集会は、当面、休会といたします。
- ◇西部中会諸教会の年報を学習室に置いています。どうぞご覧下さい。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558KHz 日曜日午前7時30分～45分)を聞きましょう。5月2日放送予定：常石召一先生(大阪教会)「鍵はどこに」
- ◇掲示板
 - *長谷川はるひ先生より、新潟伝道所定住伝道者着任の挨拶状が届いています。
 - *全国青年リトリート ONLINE NO.2 の案内が届いています。
- 日時：5月4日(火)～5日(水) 参加対象：18歳～49歳 「ディスタンスを超えるスタンス」
- 講師：石原知弘先生(東京恩寵)、柏木貴志先生(岡山)、吉岡契典先生(板宿)、吉田隆先生(甲子園)、木村恭子先生(川越)、ケン・リー先生(CRCミッション)、小峯明先生(船橋高根)、福西裕子姉妹(神学校牧会ケアアシスタント)

◇今週の牧師予定

4月26日(月)午前10時30分～ 中会伝道委員会 場所：神港教会

4月の祈禱課題

- ①主の受難と復活を覚えて(受難週 3/28-4/3, イースター 4/4)。
- ②神学校のために。
- ③新型コロナウイルス感染症予防のために。
- ④教会学校のために。
- ⑤加入されたMご夫妻のために。
- ⑥昨年加入された方々、受洗された方々を覚えて。
- ⑦闘病中の方々を覚えて。
- ⑧求道者の方々を覚えて。
- ⑨中会のために。
- ⑩川島利子姉妹のために。
- ⑪年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑫豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑬滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑭4月生まれの方のために。

今月の掃除当番

A 姉妹・K 姉妹

【本日の聖書日課のテーマ】「イエスは復活また命」

旧約聖書 ネヘミヤ記2章1節～18節：エルサレムの再建

新約聖書 ヨハネによる福音書11章17節～27節：ラザロの復活

ラザロは「墓に葬られて既に四日もたっていた」(ヨハネ11:17)。

すべては終わりました。わずかに残された希望は掌中からこぼれ落ちるように消えていきました。今はもう悲しみを受け入れるべき時、慰めを受けるべき時です。多くの人々がそのためにここに集まっているのです。主イエスのあまりにも遅すぎる到着に、人々は冷ややかな、そして非難を込めた視線を向けます。誰も主イエスに期待などしていません。すでに終わったことなのです。

しかし、このお方は終わったところから始められます。イエス・キリストは死んで葬られ、そして三日後に復活されました。復活の出来事は、終わりが終わりではなくなることがありうるということを私たちに語り続けています。

私たちは自分たちをめぐる状況が、そして自分自身が、いろいろな意味で手遅れになっていくように感じ、焦り、そしてやがて諦めてしまいます。残された希望を過去へと追いやり、私たちから意欲と勇気を奪い取っていく時間の力はあまりにも強く、誰もそれに抗うことはできないかのように感じています。

この世界では、地球環境は破滅への道を突き進み、国際関係は複雑・深刻化し、憎しみと不信は増大し、人の心そのものが著しく破壊されているように見えます。この国では、あらゆる世代の人々が将来に夢を抱けなくなっています。教会も衰退の一途を辿り、打つ手を失いつつあるように見えます。私たちの目にはいろいろなことが手遅れになっているように見えるのです。しかしそのように「見える」のは、私たちにあって、主イエスにとってそうなのではありません。主イエスにおいて手遅れということはないのです。私たちの信じるお方はどのような状況からでも新しく始められるお方です。そして私たちにも、御自身に従いつつ、新しく始めることを求め、またそのために私たちを助けてくださるのです。

私たちはあまりにも簡単に諦めてはいないでしょうか。期待することをやめていないでしょうか。「どうせ、もうどうしようもないのだ！」と。それは復活のキリストを信じる者の生き方ではありません。私たちが死の向こう側にある復活を信じることは、日々、すべての瞬間に新たにされ続けていることを信じることの延長にあるのです。

「信じるか」と主イエスは問われます。この言葉に、私たちは実存をかけて答えることが求められているのです。この問いに対して、個人的にではなく、信仰共同体として応答することができるならば、それは私たちにとって大きな力となるに違いありません。

ウエストミンスター小教理問答

- 問89 御言葉はどのようにして救いに有効とされるか。
- 答 神の御霊が、御言葉の朗読、特に説教を、罪人に罪を自覚させ、回心させ、また信仰によって救いに至るまで、きよめと慰めのうちに彼らを成長させるための有効な手段とされるのである。

使徒信条

われ天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
われは聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と榮えとは、
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。